



No.32

UT University Forests News

# 科学の森ニュース

January 13, 2006

発行：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

## 都会の森へようこそ『雑木林—秋のよそおい—』

田無試験地

11月27日、田無試験地において秋の公開講座「都会の森へようこそ『雑木林—秋のよそおい—』」が開催されました。

参加者は3班に分かれて林内を巡り、日本の植生分布・ドングリ・紅葉のしくみについて教職員から説明を受けました。その後、採集してきた落葉を使ってネイチャークラフト「押し葉づくり」に挑戦しました。34名の参加者からは、公開講座に合わせたように鮮やかに色づいた紅葉に感嘆の声が……。十分に秋を満喫されたことと思います。



紅葉のしくみについて説明している様子

「科学の森ニュース」のカラー版(pdf形式)を東京大学科学の森教育研究センター(演習林)のホームページからダウンロードすることができます。(http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/)

# お知らせ

## ＜ 公開講座 ＞ 「冬の森林観察～春を待つ樹木たち～」

秩父演習林

### 日 程

平成 18 年 3 月 11 日(土) 9:10～16:00 頃

### 集合場所

秩父演習林事務所（秩父市日野田町）

### 講座内容

冬芽の観察&スケッチ

### 参加費用

1,000 円

### 募集定員

10 名（抽選）

### 締め切り

平成 18 年 2 月 26 日

### 申込方法

往復ハガキに住所・氏名・年齢・性別・電話番号・公開講座名（冬の森林観察）を明記して秩父演習林へ（〒368-0034 秩父市日野田町 1-1-49、問い合わせ TEL 0494-22-0272）



ん・科学の森」を 1,000 部作成し、1 冊 1,000 円で販売しました。結果、5 日間で 795 部販売でき、これは 1 割弱の来場者に購入していただいたこととなります。



ガイドブックいかがですか？

## 親子で学ぶ、森のネイチャー教室

愛知演習林

3 回シリーズの森のネイチャー教室の最終回「森の木々とその利用方法」が、11 月 5 日に 15 名が参加して行われました。

今回は、愛知演習林が独自に作った「樹木博士」を目指して、レベル毎に保護者を含めた参加者全員、樹木の名前当てクイズなどに挑戦し、回答率によって、それぞれ、初級、中級、上級の「認定書」を受け取りました。



樹木の説明を聞いています

# トピックス

## 千葉演習林「秋の一般公開」開催

千葉演習林

11 月 23 日～12 月 4 日の土休日(延べ 5 日間)に「猪ノ川渓谷・秋の一般公開」が行われました。今年は例年より紅葉が遅いという情報がテレビや新聞で騒がれていた影響で、来場者が 12 月に集中するのではないかと予想していましたが、JR 東日本が主催する「駅からハイキング」が開催された 11 月 27 日が最も多い 2,175 人となり、延べ 5 日間で 7,443 人が千葉演習林を訪れ、紅葉を楽しんでいきました。

今回初めての試みとして、千葉演習林の風景や動植物、試験研究、イベントなどのカラー写真とその解説を綴ったガイドブック「たんけ



## 稲梓小学校 6 年生 森林体験教室

### 樹芸研究所

11月30日、青野研究林にて下田市の稲梓小学校6年生の森林体験教室が行なわれ小学生15名が参加しました。用意した小冊子をもとにスタジイ、アラカシ、コナラなど地域の代表的な樹木10種を覚えながら林道を散策しました。その後は、地域の希少なミシマサイコの種を播いたり、竹炭の浄化能力について実験をしたりしながら森林に関する学習が行なわれました。2時間という短い時間の中での限られた内容でしたが、実際に体験する事ができ、森林の大切さを考える時間を過ごせたと思います。



ミシマサイコの説明をしている様子

## 農学生命科学研究科留学生の 見学会開催

### 千葉演習林

11月21日、千葉演習林において農学生命科学研究科に所属する留学生による見学会が実施されました。参加者は中国をはじめ16ヶ国から45名です。

一行は2台のマイクロバスに分乗し、紅葉で彩られた猪ノ川林道から演習林に入りました。参加者は日本における暖帯林を体感し、高齢スギ人工林における植栽・森林管理の意義や、スギ栽培品種展示林、モウソウチクの開花寿命試

験地等の長期にわたる実験、さらに針葉樹天然林の充実度等について感嘆の声を挙げていました。

このように、外国の人たちに千葉演習林の森林管理や試験研究、さらには日本の森林について知ってもらうことは、世界に向けた演習林の大きな活動のひとつと考えられ、今後ともこのような活動を積極的に進めていく必要があると考えます。



高齢スギ人工林の見学

## 秩父演習林 里親企画 2005

### 秩父演習林

11月18日(金)に、秩父演習林にある樹木の里親の皆さんに訪れていただく「里親企画」を開催しました。参加いただいた2家族・3名の皆さんには、澄んだ秋晴れと奥秩父の紅葉を楽しみながら里子の木と対面していただきました。来年は5月に開催を予定しております。



里親の皆さんと栃本作業所の庭にて

## シデコブシ

モクレン科 モクレン属

学名 : *Magnolia tomentosa* Thunb.

### 愛知演習林

早春の3月から4月に花開くモクレン科の植物で、葉が開く前に、直径10cmほどの大きな花をつけます。花の色は、濃いピンクや薄いピンク、やや紅色を含んだ白色と様々で、「がく」と「花弁」の区別が無く、見た目、十数枚ほどの花びらを付けているようです。その容姿は、周りの木々に春を告げているようにも映ります。

本州中部地方（愛知、岐阜、三重県）の固有種で、国の絶滅危惧Ⅱ類にランク付けされています。愛知演習林では、穴の宮試験地と犬山研究林の湿地周辺に部分的に自生しています。



## 名所・名物案内

### ニホンカモシカ

と

### 秩父演習林マスコット・キャラクター「カモシカくん」

### 秩父演習林

ニホンカモシカ (*Capricornis crispus*) は日本の本州、四国、九州の山岳地帯に生息し、鹿というよりは牛に近い仲間です。東京大学の7つの演習林では秩父演習林内でのみ見られます。モサツとしていてシカより短足なためトロそうに見えるのですが、動きは意外なほど敏捷でガケや岩場でも平気で移動できます。私たちが山の中で出会うときの多くは斜面やガケの上のほうから私たちを見下ろすようにしています。



カモシカくん



そんなカモシカが、秩父演習林での日常の様子をお伝えする情報誌「カモシカ通信」のキャラクター「カモシカくん」として登場しました。最近では12月11日の秩父演習林のイベント「影森祭」のキャラクターとしても大活躍。秩父演習林のマスコット・キャラクターとして認知されつつあります。

今後は秩父演習林の各種イベントなどで「カモシカくん」を目にすることが多くなると思いますので、ぜひ可愛がってください。

### 科学の森ニュース (UT University Forests News)

### 第32号 (No.32)

発行日 平成18年1月13日

発行人 永田 信

編集人 丹下 健

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林研究部

TEL 03-5841-5497 FAX 03-5841-5494

E-mail mori@uf.a.u-tokyo.ac.jp